

# 主要農作物等奨励品種特性表

令和3年6月  
宮崎県

## 〔利用上の注意〕

### 1 編集概要

- 1) 本表は、主要農作物の令和3年度における本県の奨励品種等について、総合農業試験場等の諸特性を集約したものです。
- 2) 消費者ニーズに即した商品性の高い農産物の生産を行うためには、品種の統一と適地適作が重要です。

これらの観点から、本表は主要農作物等(稲、麦、大豆、そば)を中心に、各地帯の基幹となる品種で構成したもので、生産並びに品質の向上を前提に、各地区の実態に即した品種の導入を図ることが重要です。

### 2 特性表の取扱について

- 1) 本表に示された栽培上の特性については、あくまでも総合農業試験場で得られた成績であり、一般農家での平均値でないことに留意して下さい。
- 2) 本表中の成熟期とは、総合農業試験場における成熟期であり、農家ほ場における刈取時期は、個々のほ場生育状況及び収穫の方法等により異なる場合があるので注意して下さい。

## 〔主要農作物等奨励品種一覧〕

種類	品種名	区分	項
早期 水稲	コシヒカリ	奨	1
	夏の笑み	奨	1
	つや姫	認	1
	宮崎52号	奨	1
普通 期 水 稲	峰の雪もち	認	1
	ヒノヒカリ	奨	2
	まいひかり	奨	2
	おてんとそだち	奨	2
	黄金錦	奨	2
	み系358	奨	2
	ちほのまい	認	3
	はなかぐら	認	3
	いわともち	認	3
クスタマモチ	奨	3	
ちほのかおり	認	3	

種類	品種名	区分	項
小麦 裸麦	チクゴイズミ	認	4
	イチバンボシ	認	4
宮崎裸	認		
大麦	ニシノホシ	奨	4
	はるか二条	認	
大豆	フクユタカ	奨	5
	キヨミドリ	認	
そば	宮崎早生かおり	奨	6
WCS用稲	ミナミユタカ	—	7
飼料用米	ミズホチカラ	—	7

奨：奨励品種  
認：認定品種

1 水稲

1) 早期水稲

試験成績: 総合農試本場(稚苗栽培)

	品種名	交配組合せ	育成地	採用年次	試験年時	移(月)植(日)	出(月)穂(日)	成(月)熟(日)	稈(長)	穂(長)	m <sup>2</sup> (当穂数)	耐倒伏性	耐病性			穂発芽性	芒の		芒又はふ先色	脱粒性	玄米			栽培適地	優 点	欠 点	栽培上の注意
													葉いもち	穂いもち	白葉枯病		多	長			短	千粒重(g)	品質				
う	コシヒカリ	農林22号 × 農林1号	福井農試	昭和36年(奨励)	平28/令2	3/24	6/17	7/25	75	16.9	510	やや弱	やや弱	中	弱	難	稀	短	黄白	難	22.0	上の中	上の中	早期栽培地帯	良質、極良食味。穂発芽性難。耐冷性強。	いもち病、白葉枯病に弱い。倒伏しやすい。	倒伏しやすいので、適正な施肥・水管理に努める。
る	夏の笑み	西南115号 × 南海128号	宮崎総農試	平成23年(奨励)	平30/令2	3/24	6/25	8/5	62	17.3	493	強	やや弱	やや弱	弱	やや易	稀	短	黄白	難	22.4	上の中	上の中	早期栽培地帯	良質、極良食味、耐倒伏性強、高温登熟優。	いもち病、白葉枯病に弱い。	いもち病に弱いので適期防除に努める。成熟期が遅いので、早期落水を避け、適期収穫に努める。
ち	つや姫	山形70号 × 東北164号	山形農総研センター庄内	平成26年(認定)	平22/平26	3/24	6/28	8/3	75	18.0	516	やや強	強	強	中	—	無	—	白	難	21.0	上の中	上の中	早期栽培地帯	極多収、高温登熟性が強い、極良食味。	やや晩生	特別栽培米のみ栽培可能。いもち病は抵抗性があるが基幹防除は徹底する
加工用米	宮崎52号	おてんとそだち × 東北195号	宮崎総農試	令和2年(奨励)	平28/令2	3/23	6/19	7/28	59	17.7	454	強	強	強	中	易	稀	短	黄白	難	22.9	—	—	早期栽培地帯	良質、多収。いもち病に強く、耐倒伏性強。	穂発芽性が易である。	いもち病以外の病害虫に対する抵抗性については、既存品種と同等なので適期防除に努める。
もち	峰の雪もち	奥羽302号 × ヒメノモチ	北陸農試	平成6年(認定)	平8/平16	3.24	6.19	7.24	64	17.8	381	強	やや弱	やや弱	やや弱	中	無	—	黄白	難	23.0	上の中	上の中	早期栽培地帯	強稈、多収、良質。	いもち病、白葉枯病にやや弱い。	短強稈で倒伏には強いが、多施用を避け適正な施肥管理に努める。

2) 普通期水稻 - 1

試験成績: 総合農試本場(稚苗栽培)

	品種名	交配組合せ	育成地	採用年次	試験年時	移(月)植(日)	出(月)穂(日)	成(月)熟(日)	稈(長)	穂(長)	m <sup>2</sup> (本)当穂数	耐倒伏性	耐病性			穂発芽性	芒の		芒又はふ先色	脱粒性	玄米			栽培適地	優 点	欠 点	栽 培 上 の 注 意
													葉いもち	穂いもち	白葉枯病		多	長			短	千粒重(g)	品 質				
う る ち	ヒノヒカリ	黄金晴 × コシヒカリ	宮崎総農試	平成元年(奨励)	平28/令2	6/18	8/21	10/1	81	20.1	356	やや弱	やや弱	やや弱	やや弱	難	稀	短	黄白	難	22.2	上の中	上の中	普通期栽培地帯(標高300m以上は除く)	良質、極良食味。	いもち病、白葉枯病に弱い。	稈長がやや長く、倒伏しやすい品種であるため、適正な施肥・水管理に努める。いもち病に弱いので、多肥条件は避け、適期防除に努める。
	まいひかり	南海132号 × かりの舞	宮崎総農試	平成16年(奨励)	平28/令2	6/18	9/3	10/16	78	20.0	362	強	中	やや強	やや弱	難	稀	短	黄白	難	21.8	上の中	上の中	普通期栽培地帯	極良食味、強稈、穂いもち、縹葉枯病複合抵抗性をもつ。	白葉枯病にやや弱い。	登熟が遅いので、早期落水を避け、適期収穫に努める。
	おてんとそだち	南海149号 × 北陸190号	宮崎総農試	平成23年(奨励)	平28/令2	6/18	8/21	9/30	73	19.5	356	強	中	やや弱	弱	中	稀	短	黄白	難	21.8	上の中	上の中	普通期栽培地帯	高温耐性が強く、玄米外観品質が優れ、極良食味。倒伏性が強い。	穂いもち病、白葉枯病に弱い。	耐倒伏性は強いが、食味低下を防止するため極端な多肥は避ける。
	黄金錦	秀峰 × 農林22号	愛知農試	昭和40年(認定) 昭和54年(奨励)	平35/平7	6/17	8/25	9/28	89	20.9	319	やや弱	強	やや強	弱	難	中	中	黄白	難	22.4	上の中	上の中	普通期栽培地帯(標高450m以上は除く)	良質、良食味、いもち病に強い。	白葉枯病に弱い。倒伏しやすい。	長稈で倒伏しやすいので、適正な施肥・水管理に努める。
加工用米	み系358	南海141号 × 東北195号	宮崎総農試	平成29年(奨励)	平28/令2	6/18	9/3	10/17	82	21.2	367	強	強	強	やや弱	中	少	短	白	難	27.5	中の中	中の中	普通期栽培地帯	極多収、いもち病に強い、耐倒伏性に優れる。	白葉にやや弱い、やや穂発芽しやすい。	登熟が遅いので、早期落水を避ける。

2)普通期水稲 - 2

試験成績:総合農試本場(稚苗栽培)

	品種名	交配組合せ	育成地	採用年次	試験年時	移(月)植(日)	出(月)穂(日)	成(月)熟(日)	稈(長)	穂(長)	m <sup>2</sup> (本)当穂数	耐倒伏性	耐病性			穂発芽性	芒の		芒又は先色	脱粒性	玄米			栽培適地	優 点	欠 点	栽培上の注意
													葉いもち	穂いもち	白葉枯病		多	長			短	千粒重	品質				
酒	ちほのまい	西海酒255号(吟のさと) × はなかぐら	宮崎総農試	平成26年(認定)	平235平225	6.20	8.28	10.5	81	21.3	358	中	やや弱	やや弱	弱	やや難	無	—	白	中	26.5	中の中	—	普通期栽培地帯	多収、大粒で心白発現率が高い。	いもち病にやや弱い。白葉枯れ病に弱い	多肥栽培では倒れやすくなるので注意。またタンパク含有率も上がるので注意する。
米	はなかぐら	南海113号 × 山田錦	宮崎総農試	平成12年(認定)	平235平225	6.20	8.29	10.6	81	21.2	356.7	中	やや弱	中	中	やや易	稀	短	黄白	中	26.6	下の上	—	普通期栽培地帯(中山間地帯)	酒米としては倒伏に強い。多収。	酒米としては心白の発生がやや少ない。いもち病にやや弱い。	主食用品種に比べて倒伏しやすいので、多肥条件は避け、適正な施肥・水管理に努める。
も	いわともち	南海糯112号 × 関東糯148号	宮崎総農試	平成12年(認定)	平235平225	6.20	8.20	9.26	78	22.3	436.7	強	やや弱	やや弱	やや弱	難	少	短	褐	難	22.9	中の上	上の下	普通期栽培地帯(中山間地帯)	良質、多収。	碎米が発生し易い。いもち病、白葉枯病にやや弱い。	やや大粒のため、刈り遅れになると胴割米が発生しやすいので、適期収穫に努める。いもち病に弱いので、多肥条件を避け、適期防除に努める。
ち	クスタマモチ	ヒヨクモチ × 南海94号(チクゴニシキ)	宮崎総農試	平成7年(奨励)	平235平225	6.20	9.3	10.9	74	18.9	363	強	やや弱	中	中	やや弱	少	短	褐	やや易	23.0	中の上	上の下	普通期栽培地帯	強稈、多収、良質。	葉いもちにやや弱い。	いもち病にやや弱いので、多肥条件は避け、適期防除に努める
香	ちほのかおり	東北144号(はぎのかおり) × 南海122号	宮崎総農試	平成12年(認定)	平8510年	6.11	8.2	9.23	78	20.3	386	中	やや弱	やや弱	やや弱	やや難	無	—	黄白	難	20.3	中の中	—	普通期栽培地帯(中山間地帯)	良質香り米多収、草姿良好。	不稔粒の発生が多い。いもち病、白葉枯病にやや弱い。	倒伏しやすいので、適正な施肥・水管理に努める。識別性がないので、種子の取扱に留意する。

2 麦類

試験成績:総合農試本場

種別	品種名	交配組合せ	育成地	採用年次	試験年次	秋播性	播種(月/日)	出穂(月/日)	成熟(月/日)	稈長(cm)	穂長(cm)	m <sup>2</sup> 当穂数	芒の長短	耐倒伏性	脱粒性	千粒重(g)	1㎡当重(g)	みのかけ質	耐病性					栽培地	優 点	欠 点	栽培上の注意	
																			黒さ	赤さ	小さ	黄さ	うどんこ					赤か
小麦	チクゴイズミ	関東107号 × アサカゼコムギ	九州沖縄農研センター	平成29年(認定)	平28 5 令2	II	11/24	3/15	5/10	88	9.1	420	やや長	やや強	やや易	43.7	812	中の上	-	赤さ び強	-	やや弱	中	強	県下全域	良質、多収	少肥栽培では十分な収量が得られない	秋播性程度がIIであるので、早まきすると茎立ちが早まり、幼穂が凍霜害をうける危険があるので、極端な早まきは避け、適期に播種する。短穂・短穂であるので、多肥栽培し、穂数の確保につとめ、やせ地や少肥条件下での栽培はさける。
裸麦	イチバンボシ	四国裸58号 (センボンハダカ) × 四R系697	近畿中国四国農研センター	平成29年(認定)	平28 5 令2	V	11/24	3/18	5/4	86	5.0	468	中	やや強	難	32.4	812	中の上	-	-	-	中	中	強	県下全域	良質、多収、縞萎縮病抵抗性強	やせ地や少肥栽培では多収性が発揮できない	やせ地や少肥栽培では十分な収量が得られないので施肥量や播種量をやや多めにする。
	宮崎裸	在来種より淘汰	宮崎総農試	平成29年(認定)	平26 5 平29	IV	11/26	3/25	5/10	106	6.1	371	中	弱	中	28.0	735	上 の 下	中	強	中	中	中	中	中	県下全域	良質、多収	熟期がおそい。倒伏しやすい。
二条大	ニシノホシ	西海皮38号 (ニシノチカラ) × 栃糸145号	九州沖縄農研センター	平成14年(奨励)	平29 5 令2	I	11/24	3/13	4/30	85	6.9	662	長	やや強	中	44.8	688	中の上	-	-	-	極強	やや強	極強	県下全域の二条大麦栽培地帯	良質、多収。縞萎縮病、うどんこ病に強い。		早生種であるので、適期播種につとめ、暖冬年か早播きとなった場合は、早めに踏圧を行い莖立をおさえる。排水対策等を行い、粒の充実をはかる。
	はるか二条	羽系B0080 × 西海皮59号	九州沖縄農研センター	平成29年(認定)	平29 5 令2	-	11/24	3/10	4/29	82	7	727	-	-	-	46.6	725	中の上	-	-	-	-	-	極強	県下全域の二条大麦栽培地帯	良質、多収、縞萎縮病抵抗性極強		早生種であるので、適期播種につとめ、暖冬年か早播きとなった場合は、早めに踏圧を行い莖立をおさえる。排水対策等を行い、粒の充実をはかる。

3 大豆

試験成績: 総合農試本場

種別	品種名	交配組合せ	育成地または取寄先	採用年次	試験年時	播(月種日性)	開(月花日期)	成(月熟日期)	花(色)	主(茎cm長)	分(枝本数)	主(茎節数)	蔓(化難度)	倒(伏難度)	粒(色)	臍(色)	粒(形)	百(粒g重)	品(質)	栽培適地	優(点)	欠(点)	栽培上の留意事項
秋大豆	フクユタカ	岡大豆 × 白大豆3号	九州沖縄農研センター	昭和56年(奨励)	平275令2	7/20	8/28	11/5	紫	43	3.7	11.4	難	難	黄白	淡褐	球	27.8	上の中	県下全域、排水良好な水田。転換畑や早期水稲、食用甘しょ、タバコ等の後作大豆栽培にも適する。	良質、多収	葉焼病にやや弱い裂皮粒の発生がやや多い	湿害を受けやすいので、梅雨明けなど雨量の多い時期の播種は避ける。ハスモンヨトウ、カメムシ等による虫害が多いので、適期防除に留意する。
豆	キヨミドリ	黄粒豆-2 × 群馬青大豆	九州沖縄農研センター	平成16年(認定)	平265平30	7/19	8/25	11/15	白	40	3.0	10.3	難	難	緑	淡	扁球	32.1	上の下	県下全域、排水良好な水田。転換畑や早期水稲、食用甘しょ、タバコ等の後作大豆栽培にも適する。	良質の緑大豆やや大粒	収量がやや低い紫斑粒の発生がやや多い	湿害を受けやすいので、梅雨明けなど雨量の多い時期の播種は避ける。ハスモンヨトウ、カメムシ等による虫害が多いので、適期防除に留意する。

4 そば

試験成績:総合農試本場

品種名	交配組合せ	育成地	採用年次	試験年次	生態型	播種(月日)	開花(月日)	成熟(月日)	花色	主(茎長)	節数	分(枝本数)	倒伏性	果皮色	子実(千粒重)	品質	適地	優 点	欠 点	栽培管理・種子審査上の注意事項
宮崎早生かおり	「鹿屋在来」の変異株を選抜	宮崎総農試	平成20年(奨励)	平185平23	中間秋型	9/15	10/11	11/21	白	73.4	7.3	2.6	他品種よりは倒伏性は強	黒褐	38.1	中	県内全域	栽培適地が広く、多収・高品質・良食味	他品種同様に湿害に弱い	湿害に弱いので、適期播種に努める。

注)平成20年を除く



5 WCS用稲・飼料用米

種別	品種名	交配組合せ	命名年次	試験年時	作期	移(月日)植(期)	出(月日)穂(期)	成(月日)熟(期)	稈(長) (cm)	穂(長) (cm)	m <sup>2</sup> (本)当穂数	耐倒伏性	耐病性			穂発芽性	芒の		芒又はふ先色	脱粒性	玄米(千粒重)	栽培適地	優 点	欠 点	栽培上の留意点
													葉いもち	穂いもち	白葉枯病		多 少	長 短							
WCS用稲	ミナミュタカ	モーれつのγ線処理による変異体	平成16年	平成16～18年	早 期	-	7.19	9.9	108	28.6	238	極強	強	強	-	易	無	-	無	難	-	県内全域	極強稈。いもち強。	穂発芽し易い。玄米収量は低い。	脱粒することは少ないが、穂発芽しやすいので漏生苗の発生に注意する。いもち病が発生している地域もあることから、箱施薬、本田防除を実施する。
					普 通 期	-	9.13	10.28	98	27.8	261														
飼料用米	ミズホチカラ	奥羽326号×(水原258号/台農67号)F6長	平成21年	平21～平22	早 期	3.29	7.7	8.29	67	20.3	362	極強	強	強	弱	やや易	無	-	無	難	-	県内全域	多肥栽培で極多収、極強稈	白葉枯病に弱い。除草剤(4-HPPD阻害型)感受性がある。	ベンゾヒシクロン・テフリルトリオンなどを含む除草剤は、葉害が生じるので、絶対に使用しない。いもち病が発生している地域もあることから、箱施薬、本田防除を実施する。
				22・平成28・29	中 期	5.28	8.17	10.3	77	21.4	273										24.3				
				平20～平22	普 通 期	6.16	8.28	10.17	77	21.4	304										-				